

グラン・カジノ (1946)

GRAN CASINO
EN EL VIEJO TAMPICO

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 メキシコ

色彩 B&W

時間 85分

初公開日 1991/03/23

公開情報 ヘラルド・エース=ヘラルド

【解説】

些細なことで投獄された主人公。しかし、“歌の力”によってまんまと脱獄、題名であるグラン・カジノに赴き、女詐欺師にだまされかけた男を助け、男の職場に仕事を得る。ところが、その経営者が何者かによって誘拐され、主人公は、歌手に化けてカジノに潜入した経営者の妹と共に、事件の調査に乗り出す。ブニュエル曰く、歌を映すのは退屈なのでリアリズム映画にせず、わざと“論理の欠陥を強調し単調さを破るために私を喜ばせてくれるような部分を挿入しよう”とした。言葉を代えて言えば、超御都合主義で貫かれ、思わぬ哄笑を誘うパワフルなミュージカル劇。骨の髄までラテンな展開に陶然としてしまう、ブニュエルの戦後第一作であり、初めての商業作品。歌が嫌いと言うわりに、歌を使っの推進力がすごい映画。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
製作	オスカル・ダンシヘルス	Oscar Dancigers
原作	ミシェル・ヴェベール	
脚本	マウリシオ・マグダレーノ エドムンド・バエス	Mauricio Magdaleno
撮影	ジャック・ドレパー	Jack Draper
音楽	マヌアル・エスベロン	
出演	リベルタ・ラマルケ ホルヘ・ネグレーテ メルセデス・バルバ ホセ・バビエラ アルフォンソ・ベドヤ	Libertad Lamarque Alfonso Bedoya